



望ましい学習・生活習慣の確立に向けて

本市の子どもたちの実態

令和8年4月23日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された「令和8年度全国学力・学習状況調査」における質問調査の結果が、7月に文部科学省から教育委員会と学校に提供されました。調査結果から、次のような本市児童生徒の傾向が分かりました。

○「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしながら授業を受けている」と回答している児童生徒の割合が大きい

○「ICT機器を活用して、理解を深めることができている」と回答している児童生徒の割合が大きい

▲「家庭学習の時間が短く、SNSや動画視聴する時間が長い」と回答している児童生徒の割合が大きい

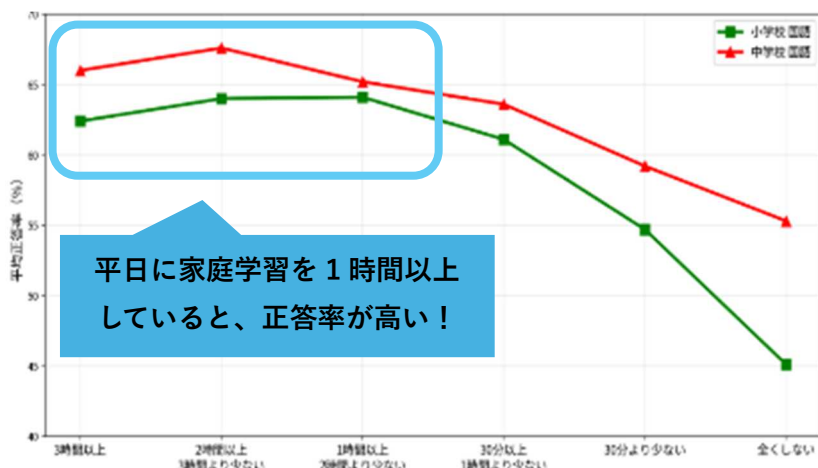
そこで、家庭学習の時間、SNSや動画視聴の時間それぞれと正答率との関係について分析したところ、次のことが分かりました。



本市の子どもたちの実態（詳細）

家庭学習の時間と学力にはどのような関係があるか

質問「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の回答状況と「国語の正答率」との関係

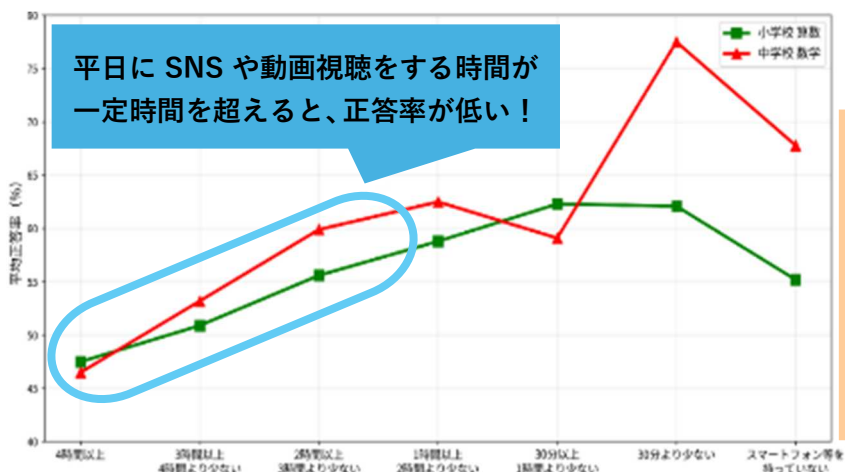


家庭学習の時間について、
小学校では「1時間以上」
中学校では「2時間以上」
と回答した子どもの正答率が高いことが分かりました。他の教科においても同様の傾向が見られました。



SNSや動画視聴の時間と学力にはどのような関係があるか

質問「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」の回答状況と「算数・数学の正答率」との関係



SNSや動画視聴の時間について、
小学校では「1時間」を超える
中学校では「2時間」を超える
と回答した子どもの正答率が低くなっていくことが分かりました。他の教科においても同様の傾向が見られました。



11月1日（日）～11月30日（月）

学習・生活習慣確立月間が始まります

子どもたちが、自ら進んで望ましい学習・生活習慣を身に付けることができるよう、本校では、上記の期間を「学習・生活週間確立月間」と設定して、次の取組を行うこととしています。

本校の取組内容

学習習慣

- ① 宿題や家庭学習（塾などを含む）は「学年×10分+10分」（例：4年生は、 $4 \times 10分 + 10分 = 50分$ ）で取り組みましょう。
- ② 読書は「学年×5分+5分」（例：4年生は、 $4 \times 5分 + 5分 = 25分$ ）で取り組みましょう。

生活習慣

- ① テレビやゲーム、スマートフォン・タブレット端末は1日2時間までにしましょう。
- ② 早寝（午後9時）、早起き（午前6時）を目安に規則正しい生活を送りましょう。

保護者の皆様へのお願い

本校では、読書の時間や就寝・起床時刻に課題が見られることから、子どもたちが望ましい学習・生活習慣を身に付けられるよう、「学習・生活習慣確立月間」を実施します。学習や読書に取り組む時間、メディアの使用時間、規則正しい生活リズムについて、ご家庭でもお子様と一緒に振り返っていただければと思います。学校と家庭が連携し、子どもたちが自分に合ったよりよい習慣を身に付けられるよう、ご家庭での温かい声かけとご協力をお願いいたします。

ご家庭での習慣づくりに向けて



お子さまが読書、体験的な学習、学習プリントを活用した予習や復習、進路に向けた学習等、成長に応じて自主的に学習に取り組んだり、十分な睡眠時間の確保や規則正しい就寝・起床のリズムづくり等、健やかな成長と豊かな学びの土台となる良い睡眠をとったりすることができるよう、御家庭での環境づくりや声掛けをお願いします。

お子さまの望ましい学習・生活習慣の確立に向けて、次の資料もぜひご覧ください。

旭川市教育委員会
【小・中学生用】
「望ましい習慣づくりに向けて」



北海道教育委員会
【小・中学生用】
「家庭での学習習慣や生活リズムの確立に向けて」



文部科学省
【小学生用】
「私の健康」



文部科学省
【中学生用】
「早寝早起き朝ご飯で輝く君の未来～睡眠リズムを整えよう！～」



旭川市教育委員会
旭川市立青雲小学校